2017

全学共通教育プログラム

手引き 2017

この1冊で
すべてが
わかる!!

コミュニティ再生ケア学

地域の未来のためのクリエイティブな
課題発見力、課題解決力
実践力、コミュニケーション力を築く

CHIBA
UNIVERSITY

千葉大学

全学共通教育プログラム

コミュニティ再生ケア学
手引き 2017

目次

コミュニティ再生ケア学とは……4
コミュニティ再生ケア学の履修方法……6
普遍教育科目 2017 指定科目……8
専門教育科目 2017 指定科目……16
学び方……20

地域を元気に　自分が元気に

NEWS !

●2016年度の3 年生5名が
「履修証明書」取得見込証明書を取得しました
●ベネッセコーポレーション
ベネッセ教育総合研究所の
発行する「VIEW21　8月号　高校版」に
コミュニティ再生ケア学が取り上げられました
●河合塾の発行する
「進路指導情報誌ガイドライン7. 8月号」に
コミュニティ再生ケア学が取り上げられました
●「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC＋）」の
文部科学省による平成28年度評価で
千葉大学が最高の「S」評価を受けました

Part 1

コミュニティ再生ケア学とは

千葉大学は、2013 年度の文部科学省「地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）」に採択され、「クリエイティブ・コミュニティ創成拠点・千葉大学」を開始しました。
このプログラムでは 2015 年度からサティフィケートプログラム「コミュニティ再生ケア学」を設置し、履修証明書取得要件で定められている単位を修得した学生に履修証明書（サティフィケート）を発行します。

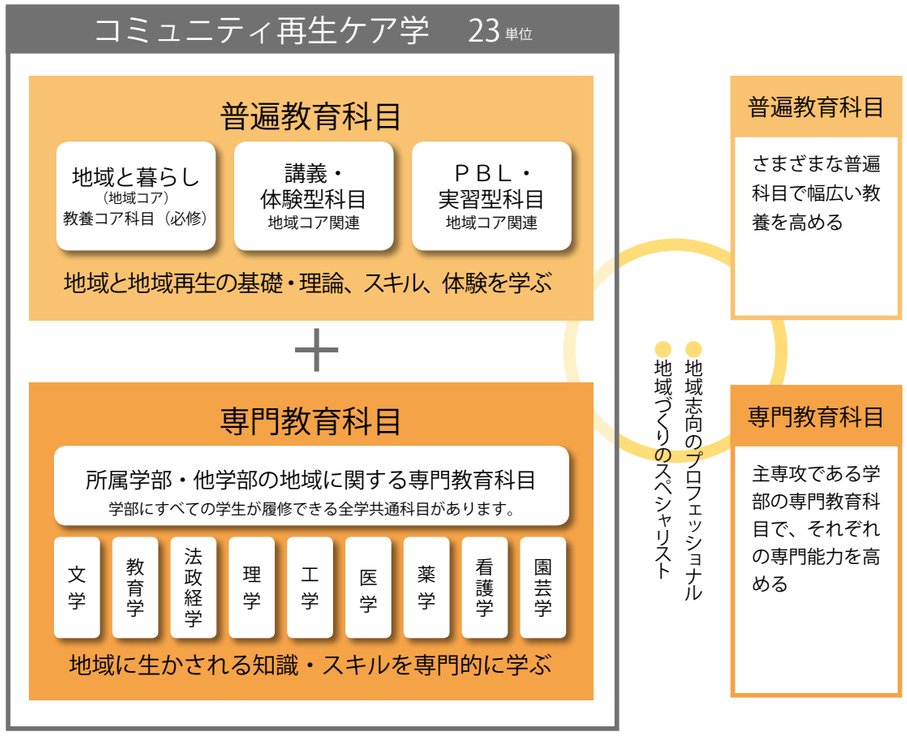
地域を元気にし、地域の未来をつくる

「コミュニティ再生ケア学」は、学生の主専攻である学部でのそれぞれの専門性をもちながら、地域・コミュニティに関する幅広い教養と、地域再生の知識、実践力を備え、ＮＰＯ、企業、自治体などそれぞれの立場で地域再生のために活躍できる人材を育成する教育プログラムです。地域とは何か、地域の中のさまざまな課題や問題にはどのようなものがあるか、どのような解決事例があるかなど、自らが地域の課題を具体的に解決する力を身につけるために必要な基本的な考え方を学びます。

新しい教育プログラム　―地域志向を学んだ証明―

「コミュニティ再生ケア学」は、普遍教育科目と学部の専門教育科目を横断する、2015年度から始まった全学共通教育プログラムです。普遍教育科目では、教養コア科目、教養展開科目の中に、「コミュニティ再生ケア学」を構成する科目が指定されています。履修証明書取得要件で定められている単位を修得した学生に履修証明書（サティフィケート）を発行します。

普遍教育と専門教育を横断する全学共通教育プログラムにより、
地域の未来をつくるためのクリエイティブな
課題発見力、課題解決力、実践力、コミュニケーション力を築きます。



わたしたちが目指すのは、地域の未来をつくる

地域志向のプロフェッショナル	地域づくりのスペシャリスト

地域志向のプロフェッショナルの職業イメージ（例）

公務員	地域と向き合っているのは地方公共団体。	医療・福祉従事者	地域医療、介護、看護で安心・安全を。
エンジニア	エンジニアリングの技術を地域活性で生かす。	教 員	子どもの頃から地域に関する関心をもたせる。
地域企業	地域でふんばる企業で地域を活性化する。	企業人	大手企業も CSR で地域に関わる。

CSR：Corporate Social Responsibility（企業の社会的責任）

地域づくりのスペシャリストの職業イメージ（例）

シンクタンク コンサルタント	地域分析し、地域づくりの企画・計画を作成。	地域・都市づくり	サステイナブルな都市づくりを進める。
研究者	理論系、政策系、現場研究で後押しする。	CB／SB 起業	地域課題を解決する非営利組織を自ら起業。
まちづくり会社／ NPO	まちづくり・地域づくりの組織で活躍する。		

CB：Community Business　SB：Social Business

イメージ通りの仕事がなければ、自分でつくる！

2016 年度新設

地方創生コースについて

人口が減少し疲弊しはじめている地方を創生させるためには、「雇用創出」「地方への新しいひとの流れ」「時代に合った地域づくり」「出会い・結婚・出産・子育て」などの取組が求められ、そのための広範な知識と取組を進めるための力が必要になります。そのような知識や、力を身につけるために必要な考え方を学ぶために、コミュニティ再生ケア学の科目で構成される「地方創生コース」を 2016 年度から新設（必要単位数：23 単位）しました。
地方創生コースの履修を選択した場合、「コミュニティ再生ケア学　地方創生コース」の履修証明書が発行され、「コミュニティ再生ケア学」の履修証明書は発行されません。地方創生コースの指定科目は、科目一覧において「地方創生コース指定された科目に○印」で記載されています。

コミュニティ再生ケア学の履修方法

履修開始から履修証明書取得までの流れ

1 「コミュニティ再生ケア学　手引き」を入手

コミュニティ再生ケア学の指定科目は、開講状況等により変更されることがあります。
各年度の冊子を手に入れ、履修を進めましょう。

4月／10月 2 履修計画を立て、「履修証明書の取得申請・登録」と「各科目の履修登録」をする

コミュニティ再生ケア学の内容と履修証明書取得要件等を確認してください。
指定されている科目一覧から、卒業までに必要な単位数を修得する計画を立ててください。

履修証明書の取得登録

在学中にコミュニティ再生ケア学の履修証明書を取得する場合は、事前に履修登録が必要になります。履修登録によって、コミュニティ再生ケア学の履修カードを発行します。また、関連する情報の取得や相談等を受けられるようになります。

■履修登録の方法

履修登録は「千葉大学Moodle※」を用いて行います。
http://moodle.chiba-u.jp/moodle/ にアクセス

コースカテゴリ → 全学共通教育プログラム → コミュニティ再生ケア学

を選択します。ガイダンスで提示する登録キーを入力し、簡単な質問に回答すると、登録が完了します。登録キーは「コミュニティ再生ケア学」履修ガイダンス（２２ページ参照）でお知らせします。

■履修登録期間

前期：4月10日～5月31日　　後期：10月2日～11月30日

※Moodleの利用方法は、「千葉大学Moodle利用ガイド（学生版）」を読んでください。

それぞれの科目の履修登録

授業科目の履修登録は、各自で通常のウェブ登録で行ってください。ただし、「地域志向型インターンシップ」と「地域ＮＰＯ活動体験」は、ウェブ登録はせずに、「地域NPO活動体験／地域志向型インターンシップ」合同履修ガイダンス（22ページ参照）に参加して手順を確認してください。学部専門教育科目の履修登録については担当教員に相談してください。

3 履修計画に沿って履修 23 単位

学部卒業時 4 コミュニティ再生ケア学の履修証明書の申請

コミュニティ再生ケア学の履修証明書の取得を希望する学生は、卒業年次の所定の期間に認定申請を行ってください。認定申請の方法については、後日ウェブで掲載予定です。
また、３年次終了までにコミュニティ再生ケア学の履修証明書の取得要件を満たしている場合は、「取得見込み証明書」を発行します。

学部卒業時 5 コミュニティ再生ケア学履修証明書の取得

コミュニティ再生ケア学の取得要件を満たし、かつ所定の申請手続きを行った学生は、卒業時に履修証明書を取得できます。

注記
○ 2014 年度以前の入学生は、2014 年度の指定科目（12 科目、11 ページ参照）が単位認定されます。
○履修科目登録単位数の上限設定及び早期卒業を実施している学部がありますので、詳細は所属学部で確認してください。
○「履修証明書取得要件表」の各科目種別の単位数を合計しても、履修証明書取得要件の総単位数とは一致しません。これは、科目種別ごとの履修単位には選択の自由があり、個人によって履修証明書の取得要件の満たし方が異なるためです。

コミュニティ再生ケア学の取得要件

コミュニティ再生ケア学の履修証明書の取得要件は、各学部の卒業要件として修得しなければならない単位数とは異なる取得要件が設定されており、下表の「履修証明書の取得要件表」に定められた科目種別に属する授業科目を、取得要件に応じて 23 単位取得することが必要です。
コミュニティ再生ケア学は、普遍教育科目の「講義型」「講義・体験型」「ＰＢＬ・実習型」、専門教育科目からなります。

履修証明書の取得要件表

科目種別					必要単位数	備考
普遍教育科目	必修	講義型	地域と暮らし	▶ 8P	1	地域・コミュニティに関する必修科目で、「地域コア」に該当します。4年生以上は取得する必要はありません。
普遍教育科目	選択	講義・体験型	地域（再生）の基礎	▶ 9P	4~10	地域・コミュニティに関する基礎的な科目で、教養展開科目「地域コア関連」に、これに該当する科目があります。
普遍教育科目	選択	講義・体験型	地域（再生）に関する多様な分野・テーマ	▶ 10P	2~4	地域・コミュニティに関する基礎的な科目で、教養展開科目と放送大学に、これに該当する科目があります。
普遍教育科目	選択	講義・体験型	地域（再生）に資するスキル	▶ 11P	2~4	地域・コミュニティに関わるためのスキル取得のための科目で、教養展開科目に、これに該当する科目があります。
普遍教育科目	選択	ＰＢＬ・実習型	PBL（プロジェクト・ベースト・ラーニング）	▶ 12P	2~6	地域・コミュニティに関わるプロジェクトベース、実習型の科目で、教養展開科目「地域コア関連」に、これに該当する科目があります。
普遍教育科目	選択	ＰＢＬ・実習型	カレッジリンク・プログラム	▶ 13P		
普遍教育科目	選択	ＰＢＬ・実習型	地域活動体験	▶ 14 - 15P		
普遍教育科目	選択	ＰＢＬ・実習型	インターンシップ	▶ 14 - 15P		
専門教育科目			地域（再生）に関する専門内容	▶ 16-19P	6	各学部の専門科目に該当する科目があります。
履修証明書取得要件					計 23	

（注意）入学年度が 2015 年以前に入学した学生は、必修「地域と暮らし（地域コア）」の 1 単位を除く計 23 単位の取得が必要です。

履修証明書

コミュニティ再生ケア学の対象科目は、本冊子 8 ～ 19 ページに明記されています。これらの科目の中から、一定の科目を履修し、かつ 23 単位を取得することで、コミュニティ再生ケア学の「履修証明書」が取得できます。この履修証明書は千葉大学が必要単位を修得した学生の皆さんに地域の未来をつくる人材として活躍するための学修を修了したことを証明するものであり、卒業時に学位記とともに取得できます。また、3 年次終了までにコミュニティ再生ケア学の取得要件を満たしている場合は、「取得見込み証明書」を発行します。

履修案内

コミュニティ再生ケア学を構成する受業科目の履修は、原則として、その科目が属する科目区分での履修方法に準じます。そのため、授業の履修にあたっては、『Guidance 2017』またはその科目が開講されている各学部の『履修案内（履修要項・学生手帳、その他学部ごとの案内冊子、web）』を確認してください。

Part 2

普遍教育科目(講義・体験型) 2017 指定科目

2017 年度の普遍教育科目の中の指定科目は、
教養コア科目【地域と暮らし（地域コア）】と教養展開科目の一部から、
コミュニティ再生ケア学の趣旨に合う科目から構成されています。

1 科目　1 単位

必 修

2017 年度
1 年生対象

教養コア科目　地域と暮らし（地域コア）

地域とは何か、地域の中のさまざまな課題や問題にはどのようなものがあるか、どのような解決事例があるかなど、自らが社会の一員として、地域のさまざまな課題を知り、具体的にどのような解決方法があるかを学びます。

科目名	分類	所属	担当教員	期別	曜日時限	単位	対象	地方創生コース指定
団地再生まちづくり	地コ	国	鈴木 雅之	T4	木 4	1	1ZE（小以外）T化環M	○
地域の地学的背景を知る	地コ	理	宮内 崇裕	T4	木 4	1		○
エコまちづくり	地コ	工	田島 翔太	T4	木 4	1		○
チームで取り組む地域活動入門	地コ	看	石丸 美奈・他	T4	木 4	1		○
女性の安全な人間関係と地域での被害者支援	地コ	医	清水 栄司	T4	木 5	1	1E 小 S	○
地域で変わる・地域を変える交通概論	地コ	高	加藤 美栄	T4	木 5	1		○
地域づくりと地方の再生	地コ	園	齋藤 雪彦	T4	木 5	1		○
まちづくりと地域財政	地コ	法	大塚 成男	T4	木 5	1		○
サイエンス、アートと地域社会	地コ	教	縣 拓充	T5	月 1	1	1LHP	○
大学と地域の共創まちづくり	地コ	工	上野 武	T5	月 1	1		○
地域振興とデザイン	地コ	工	今泉 博子	T5	月 1	1		○
まち・ひと・しごと創生	地コ	高	阿部 厚司	T5	月 1	1		○
健康都市・空間デザイン論	地コ	予	花里 真道	T5	火 2	1	1T電情建デN	○
地域とNPOの社会学	地コ	文	清水 洋行	T5	火 2	1		○
地域づくりとアートマインド	地コ	教	神野 真吾	T5	火 2	1		○
地域に住まう	地コ	工	小林 秀樹	T5	火 2	1		○
超高齢社会論	地コ	病	井出 博生	T5	木 5	1	1BT機物	○
公共施設の再編・利活用	地コ	工	柳澤 要	T5	木 5	1		○
未定	地コ		未定	T5	木 5	1		○
地方の地域づくり	地コ	国	和田 健	T5	木 5	1		○

分類凡例　地コ：地域コア

所属凡例　国：国際教養学部、理：理学研究科、病：医学部付属病院、看：看護学部、医：医学研究院・医学部
工：工学研究科、教：教育学部、文：文学部、予：予防医学センター、高：高等教育研究機構
法：法政経学部、園：園芸学研究科

2-5 科目　4-10 単位

地域（再生）の基礎を学ぶ

地域・コミュニティに関する基礎的な科目で、地域とは何か、地域の中のさまざまな課題や問題にはどのようなものがあるか、どのような解決事例があるかなど、自らが地域の課題を解決する力を身につけるために必要な基本的な考え方を学びます。

科目名	分類	所属	担当教員	期別	曜日時限	単位	地方創生コース指定
地域の再生	地	国	鈴木 雅之	T1	木 4	1	○
超高齢社会の地域づくり	地	国	鈴木 雅之	T1	火 4	1	○
共生環境のまちづくり	地	工	樋口 孝之	T1-2	水 4	2	○
地域を共につくる	地	工	佐藤 公信	T1-2	火 2	2	○
千葉の地域を知る	地	国	鈴木 雅之	T4-5	木 2	2	○
人口減少時代と地域	地	工	田島 翔太	T2	火 4	1	○
地方創生を語る	地	国	鈴木 雅之	T2	木 4	1	○
地域における起業を語る	地	工	田島 翔太	T5	火 4	1	○
千葉県の産業	地	工	田島 翔太	T2	木 2	2	○

分類凡例　地：地域コア関連

所属凡例　国：国際教養学部、工：工学研究科

1-2 科目　2-4 単位

地域（再生）に関する多様な分野を学ぶ

地域・コミュニティの課題や解決法にはさまざまあります。地域の中のさまざまな課題や問題、解決方法を具体的に学び、自らが地域の課題を解決する力を身につけるために必要な基本的な考え方を学びます。以下の科目群の他に、放送大学に指定科目があります（P19 参照）。

科目名	分類	所属	担当教員	期別	曜日時限	単位	地方創生コース指定
地域の中のキャンパスづくり	地	工	上野 武	T1	水 3	1	
観るということ	地	教	縣 拓充	T1-2	金 4	2	
伝統文化をつくるA	地	文	兼岡 理恵	T1-2	月 4	2	
伝統文化をつくるB	地	文	兼岡 理恵	T4-5	月 4	2	
伝統文化をつくるC	地	文	兼岡 理恵	T1-6	集中	2	
美術館の展示をつくる	地	教	神野 真吾	T2-3	集中	2	
アーティストと展示をつくる	地	教	神野 真吾	T4-5	集中	2	
アートコミュニケーション	地	教	神野 真吾	T1-6	集中	2	
アートをつくるI	地	教	加藤 修	T1-2	水 2	2	
アートをつくるII	地	教	加藤 修	T4-5	集中	2	
アートをつくるIII	地	教	加藤 修	T1-2	集中	2	
アートをつくるIV	地	教	加藤 修	T4-5	集中	2	
カフェをつくるI	地	＊	西田 直海	T1-2	月 3	2	
カフェをつくるII	地	＊	西田 直海	T4-5	月 3	2	
観光を考える	地	工	植田 憲	T4-5	水 2	2	○
スポーツ・マネージメント	地	教	下永田 修二	T1-2	火 3	2	
環境をデザインする	文	工	佐藤 公信・他	T1-2	水 2	2	○
緑と食の環境問題	環	園	小林達明・他	T4-5	水 5	2	○
ひととみどりをつなぐ	環	園	三島 孔明	T1-6	集中	2	○
生きるを考える	生	看	眞嶋 朋子・他	T4-5	火 3	2	
環境から考える生活と世界	国	＊	大倉 よし子	T4-5	水 4	2	
地域を知り、地域で企画する B	キャ	国	和田 健	T5	金2	2	○
市民社会 - 被災地支援とボランタリズム	キャ	社	関谷 昇・他	T4-5	月1	2	○
非営利市民事業と協同組合	キャ	人	伊丹 謙太郎	T4-5	金 4	2	○
現代医学	生	医	小林 欣夫	T1-2	金 4	2	
グローバル人材育成と留学	国	高	織田 雄一	T1	金 5	1	○
健康と医療の日本文化	国	国	Gaitandis Ioannis	T1	月 4-5	2	○
実務家によるキャリア・デザイン入門 A	キャ	社	小川 真実	T1	金 4	1	○
実務家によるキャリア・デザイン入門 B	キャ	社	小川 真実	T4	金 4	1	○
実務家によるキャリア・デザイン演習 A	キャ	社	小川 真実	T3	集中	2	○
実務家によるキャリア・デザイン演習 B	キャ	社	小川 真実	T6	集中	2	○
地方創生の実務現場 A	キャ	社	小川 真実	T2	金 4	1	○
地方創生の実務現場 B	キャ	社	小川 真実	T5	金 4	1	○
地方創生の実務演習	キャ	社	小川 真実	T1-6	集中	2	○
地方創生の実務実習	キャ	社	小川 真実	T3	集中	2	○
地域課題を解決する農業イノベーションの未来	地	高	加藤 美栄	T1	木	1	○
インクルーシブ・ビジネス入門	地	国	永瀬 彩子	T3	集中	1	○

分類凡例　地：地域コア関連、文：文化コア関連、環：環境コア関連、生：生命コア関連、国：国際コア関連、キャ：キャリアを育てる

所属凡例　工：工学研究科、文：文学部、教：教育学部、＊：非常勤講師、園：園芸学研究科、看：看護学部
法：法政経学部、病：医学部付属病院、国：国際教養学部、社：社会科学研究院、人：人文社会科学研究科

1-2 科目　2-4 単位

地域再生に資するスキルを学ぶ

地域・コミュニティの課題や問題を解決するために習得しておいた方がよいスキルがあります。就職先や現場で活動すれば身につくスキルですが、ここで学べば、活躍するまでの期間を短縮できます。

科目名	分類	所属	担当教員	期別	曜日時限	単位	地方創生コース指定
地域づくりの道具	地	国	鈴木 雅之	T4	木 4	1	○
芸術学 A	文	教	神野 真吾	T1-2	水 3	2	○
プレゼンテーション演習	コミ	統	全 へい東	T4-5	火 4	2	○
思考とコミュニケーションのプラクティス	コミ	＊	永本 養弘	T4-5	火 4	2	○
対人コミュニケーション演習	コミ	＊	堂山 智子	T1-2	木 2	2	○
文献との対話	コミ	人	竹内 比呂也・他	T4	月 2	1	○
文章表現演習	コミ	国	佐藤 尚子	T1-2	木 3	2	○
理系の作文とプレゼンの学習法	コミ	工	斎藤 恭一	T1-2	月 3	2	○
大学生のためのライティング基礎 (1)	コミ	人	石井 正人	T1	水 5	1	○
大学生のためのライティング基礎 (2)	コミ	人	石井 正人	T4	水 5	1	○
大学生のためのプレゼンテーション基礎 (1)	コミ	人	石井 正人	T2	水 5	1	○
大学生のためのプレゼンテーション基礎 (2)	コミ	人	石井 正人	T5	水 5	1	○
デザイン・シンキング入門	キャ	国	渡邉 誠	T6	集中	1	○
地域ベンチャー起業論	地	工	田島 翔太	T4	火 4	1	○

分類凡例　地：地域コア関連、文：文化コア関連、コミ：コミュニケーションリテラシー、キャ：キャリアを育てる

所属凡例　国：国際教養学部、教：教育学部、統：統合情報センター、＊：非常勤講師
工：工学研究科、人：人文社会科学研究科

! 2014 年度開講科目の読み替え

2014 年度にコミュニティ再生ケア学の一部授業を開始しました。2015 年度からのコミュニティ再生ケア学の単位認定にあたっては、以下のように単位認定します。ここに示された以外の科目で、2014 年度以前に開講された科目は単位認定されません。

2014 年度開講科目名	単位数		2015 年度科目種別
地域再生学	2	▶	地域（再生）の基礎科目 / 地域（再生）に関する多様な分野・テーマ科目として認定
超高齢社会と地域	2		
地域の中のキャンパスづくり	2		
観るということ	2		
郊外コミュニティ学	2		
減災福祉コミュニティ入門	2		
サイエンスとアートのコミュニケーション	2		
廃校小学校に大学をつくる	2	▶	ＰＢＬ科目として認定
「まち点検」－小学校と防犯まちづくり実践	2		
スポーツによるコミュニティづくり	2		
減災まちづくり入門	2	▶	カレッジリンク・プログラム科目として認定
地域活動体験	2	▶	地域活動体験科目として認定

1-3 科目　2-6 単位

PBL/カレッジリンク/地域活動体験/インターンシップ

PBL（Project Based Learning）

地域・コミュニティに関わるプロジェクトベースの科目です。地域課題の解消や地域の魅力づくりに関する活動テーマやプロジェクトについて、学生自らの提案（学外からのプロジェクト提案あり）により設定し、具体的にするための事業計画、活動計画を立て、実践します。一連の授業を通して、自らが地域再生の専門人材として何ができるか、これから何を学ぶべきかを学習します。

授業科目	分類	所属	担当教員	期別	曜日	単位	地方創生コース指定
サテキャンで地域とつながる	地	国	鈴木 雅之	T4-6	集中	2	
スポーツによるコミュニティづくり	地	国	小泉 佳右	T2-4	集中	2	
文化をつくる	地	教	神野 真吾	T1-6	集中	2	
地域クリエイティブ演習	地	園	木下 勇	T1-3	集中	2	

分類凡例　地：地域コア関連　　所属凡例　国：国際教養学部、教：教育学部、園：園芸学研究科

サテキャンで地域とつながる

地域の中心としてのサテキャン（サテライトキャンパス）を舞台に、地域再生の観点から、大学としてどうあるべきかを考えます。その上で、学生としてサテキャンをどのように活かせるかを考え、プロジェクトの企画を立てます。2015 年度は、地域の子どもたちと大人を繋げるイベント「サテキャン笑市（わらいち）」を企画・運営しました。プロジェクトに自ら主体的に関わることで、地域再生のあり方を体験的に学習します。

スポーツによるコミュニティづくり

地域社会が持つニーズ（コミュニティが抱える問題の解決や志向性）に対して、スポーツを通して果たすために、スポーツイベントを企画・運営します。企画・運営作業を通して、スポーツの文化性及び地域社会の在り方について考えるとともに、イベントプロデュース力を養います。スポーツの社会的及び文化的価値を学習し、スポーツが現代社会の問題を解決するための意義や方法論を探ることができます。地域社会が持つニーズを把握し解決に向かい、それに対してより深い知識で対応できる力を養います。

文化をつくる

前半は、アーティストやクリエイターによる複数のワークショップに参加し、アートの視点やクリエイティブな協働のあり方について体験的に学びます。その後は千葉市美術館やアーティストと連携しながら、地域の中で様々な活動を展開していきます。2015 年度は美浜区の団地を拠点に、自分たちで屋台や家具を制作し、カフェなどの活動を実施。2016 年度は映画監督と協働し、「千葉の中での、自分の居心地のいい場所」をテーマにした映像制作に取り組みました。

地域クリエイティブ実習

少子高齢化、地域経済の低迷、空き家、空き地の増加、道路、公園の公共空間の魅力低下、地域内のコミュニケーションの希薄化等地域の課題を捉えて、一大学生として、また大学として何ができるかを、地域に身を置く事で問題解決の方向を考える。課題の大きさに負けることなく、地域の人とのコミュニケーションやワークショップから視点を変え、発想を広げて、創造的に問題解決を考える方法を身につける。（写真は松戸地区の空き家活用のため地域のまちづくり団体や国際プログラムの学生とも現場調査をしている様子）

カレッジリンク

カレッジリンクとは、大学（カレッジ）と地域社会が組織的に連携（リンク）し、年齢に関わらず地域の誰もが大学でともに学びあう機会を創出する新しい学習プログラムです。この科目では、市民と学生が一緒に受講し、地域の課題や問題を自分たちで考えるだけでなく、他人とディスカッションすることで客観的かつ俯瞰的にものごとを捉える能力を身に付けます。

授業科目	分類	所属	担当教員	期別	曜日	単位	地方創生コース指定
カレッジリンク@柏	地	環	野田 勝二・他	T1	集中	2	○
カレッジリンク@千葉A	地	教	縣 拓充	T1-3	集中	2	○
カレッジリンク@千葉B	地	国	鈴木 雅之	T4-6	集中	2	○

分類凡例　地：地域コア関連

所属凡例　環：環境健康フィールド科学センター、教：教育学部、国：国際教養学部

柏

カレッジリンク@柏

『千葉大学柏の葉カレッジリンク・プログラム』は柏の葉キャンパスの環境健康フィールド科学センターが実施している公開講座と千葉大学の授業とを一体化したもので、2009年に開講してから６年が経過し、地域に根付いてきました。市民の修了生は地域のコミュニティーで活躍したり、大学と一緒に街づくりに貢献するための社団法人を設立して活動していたりしています。プログラムの内容は環境、健康、農、食をキーワードにして地域が抱える課題の解決方法や、街づくりのコンセプトの提案を行うものとなっており、毎年複数のコースが用意されます。プログラムの回数は各コース５回の授業と全コース合同で行う発表会を合わせた６回で、地域の市民と共に学び、意見交換しながら、課題解決方法やコンセプトの提案をつくりあげていきます。

▶▶ 2017 年度コースの詳しい内容はガイダンスまたはウェブで確認してください。

千葉

カレッジリンク@千葉

カレッジリンク@千葉 A・B

授業は、学生と市民とが月１回、講義とグループワークを通して、地域づくりに自ら働きかけ、行動する基礎力を養っています。2015年度は、日常や地域をそれまでとは異なるクリエイティブな視点から捉えられるようになるためのプログラムを実施しました。講師として、芸術学や心理学を専門とする教員のほか、料理や音楽に関わるデザイナーやアーティストの方々をゲストとしてお招きし、身近な物事に対する新しい眼差しや発想を体験的に楽しみながら学びました。また、2016年度から、千葉県の地方部で地方創生のプロジェクトを学ぶ「カレッジリンク＠千葉Ｂ」を開講しています。

▶▶ 2017 年度コースの詳しい内容はガイダンスまたはウェブで確認してください。

合同ガイダンス開催

「カレッジリンク@柏＋@千葉 A・B」
合同履修ガイダンス

日時：2017 年４月27日（木）・28日（金）
いずれも 12:10～12:40（ランチ持参可）
場所：総合校舎 G4-54

地域活動体験／インターンシップ／グローバルボランティア

- 地域活動・インターンシップで研修することで、体験的に地域社会の課題やニーズを知り、取組みの意味を理解します。
- 活動の体験を通じて、地域に対する自分の可能性を発見します。

『地域ＮＰＯ活動体験』とは、地域再生を実践するＮＰＯ等にボランティアとして参画し、地域活動や市民団体の役割とその実践について学び、視野を広めます。そして、地域の活性化のためにできる事、活性化を担うために大切な事を具体的に掘り下げ、「地域社会」発展について理解を深め、その後の勉学への取組み方を発見します。
『地域志向型インターンシップ』とは、自治体や企業等での地域に関わる就業体験を通して、地域（再生）に関連した知識や理解を深めるとともに、将来の職業選択における自らの適性・能力を考えます。また、組織・団体等の実態に触れることにより、就業のミスマッチを防ぐという目的もあります。

履修の流れ（両科目共通）

履修登録（web 登録）はしないでください

4月～5月	ガイダンス開催 説明会開催	内容説明および各プログラム詳細が発表されます。 開催日等については、総合校舎の掲示、ＨＰ、ＦＢ等で告知します。
5月～6月	募集・選考	募集要項を入手し、エントリーシートにて応募します。 書類選考、面接等にて選考を行います。
5月～7月上旬	事前学習	単位取得に必須です。
8月～12月	派遣先での活動	それぞれの地域 NPO 活動体験、あるいは地域志向型インターンシップ派遣先にて活動します。
12月～1月	事後学習 成果報告	事後学習への出席は単位取得にあたって必須です。 報告会や報告書等での成果報告を行います。
3月	単位取得	

※プログラムによっては、学期中、冬休み中、春休み中に派遣される場合があります。

受講者の声

教育学部４年　與那覇 葵

「地域活動体験」での学びが他の講義と大きく異なる特徴は、まず何といっても実践的な学びができることです。ここで得られる経験や学び、沢山の素晴らしい人々との出会いは非常に貴重で、それは、あなたの世界を広げ、一生ものの財産となり、今後の学習に役立ち、人生における武器になると思います。活動は非常に充実しており、派遣先の方々も親切で、尊敬でき、非常に楽しく活動することが出来ました。もし受講を迷っているのであればぜひ受講して、多くの人々と出会い、沢山の素晴らしい学びをしてみて下さい。

園芸学部４年　畑川 芳弥

ボランティア先では、自ら積極的に行動して行こう。お世話になる派遣先だとしても、躊躇しないでしっかりと発言していくことが大事です。意欲を見せれば、派遣先の方々も十分にそれに応えてくれます。大学の授業の一環として、ボランティアに参加できることはめったにない機会です。存分にこの機会を利用して、大学の授業だけでは知り得ないようなあらゆることを学んできて下さい。

2単位　地域ＮＰＯ活動体験／グローバルボランティア（地域）　T1-6　２単位

千葉県内で地域課題の解決に取り組むNPOなどの団体で、地域活動をボランティアとして“50時間”以上おこなうことが求められます。また、事前学習、事後学習が義務づけられます。派遣先の活動としては、たとえば高齢者・障碍者を対象とした活動、子供や青少年・育児中の家族等を対象とした活動、里山再生や環境保全の活動、魅力的なまちづくりや、安心安全の地域づくりに関する活動、学術・芸術・文化・スポーツに関する活動、などがあります。本科目の４月のガイダンスにおいて派遣先を発表します。

これまでの派遣先の例

●まちづくり千葉	●ちば地域再生リサーチ	●カモミール
●学童保育の会・この指とまれ	●土気 NGO	●こんぶくろ池自然の森
●HELLO GARDEN	●千葉中央おやこ劇場	●エコメッセちば実行委員会
●NPO 支援センターちば	●千葉市民活動支援センター	●あすみが丘国際交流 略称 AIFS
●バランス 21	●まちづくり千葉	など
●ほのぼの研究所	●ピオスの会	
●エコメッセちば実行委員会	●千葉盲ろう者友の会	

「グローバルボランティア（地域）」について（2017年度新規開講科目）
派遣先のうち、特に国際交流に関連する団体で活動します。授業内容は「地域ＮＰＯ活動体験」と同じですが、「グローバルボランティア事前学習（T2・木6・1単位）」の履修が必須となります。詳しくはガイダンスで説明します。

2単位　地域志向型インターンシップ　T1-6　２単位／２年生以上

「コミュニティ再生ケア学」の履修登録「地域再生）の基礎を学ぶ」の科目および、その他の指定科目を履修していると、選考上優先されます。
自治体・企業・団体等で、“40 時間以上”のインターン研修が求められます。また、事前学習、事後学習が義務づけられます。

自治体

自治体でのインターンシップには、公募型インターンシップと公募型でないインターンシップの2種類があります。詳しい手続き方法は、「地域ＮＰＯ／地域志向型インターンシップ」合同履修ガイダンスで発表します。

1. 千葉県、千葉市をはじめとする県内自治体の公募型インターンシップの場合
   各学部や就職支援課から、随時、インターンシップの公募情報が出されます。その中から、特に地域再生、地方創生に関わる部署をコミュニティ・イノベーションオフィスで指定します。公募情報が入り次第、moodle、ウェブを通じて発表しますので、希望者は担当窓口で手続きするとともに、申請書の写しとエントリーシートをコミュニティ・イノベーションオフィスに提出してください。
2. 公募型でない市町村のインターンシップの場合
   公募を行っていない自治体でインターンシップを希望する場合は、エントリーシートに派遣希望市町村・希望部署を記入し提出してください。学生と派遣希望先市町村とのマッチングおよび審査の結果によって、派遣者を決定します。

企業・団体等

特に地域活動に関わる企業や団体で研修します。企業の一員として地域活動に参加し、スキルを身に付けます。インターンシップの内容や派遣先の詳細は、情報が入り次第、moodle、ウェブを通じて発表します。詳しい手続き方法は、「地域ＮＰＯ／地域志向型インターンシップ」合同履修ガイダンスで発表します。

これまでの派遣先の例

●千葉市	●独立行政法人都市再生機構
●松戸市	●生活協同組合コープみらい

ガイダンス開催

「地域NPO活動体験／地域志向型インターンシップ」
合同履修ガイダンス

日時：2017年4月 24日(月)・25日(火)・26日(水)
いずれも 12:10～12:40（ランチ持参可）
場所：総合校舎 G4-54

Part 3

専門教育科目 2017 指定科目

各学部の専門科目にコミュニティ再生ケア学の指定科目が置かれています。
各学部が、コミュニティ再生ケア学の主旨に合う科目を指定しています。
全学共通科目では、他学部の学生も履修することができます。

6 単位

専門教育の指定科目には、すべての学生が履修できる全学共通科目と、所属学部の学生のみが履修できる所属学部生限定科目があります。科目ごとに履修条件等がそれぞれ異なりますので、履修の際は注意してください。６単位までが履修要件の単位として認定されます。専門教育科目については、すべての科目が「地方創生コース」の指定科目です。

58 科目 全学共通科目

すべての学部の学生が履修できる科目※

文学部

授業科目名	担当教員名
アイヌ語a	中川 裕
アイヌ語b	中川 裕
家族社会学a	米村 千代
地域社会学a	清水 洋行
生活史の社会学 a	出口 泰靖
フィールド調査法演習a	児玉 香菜子

教育学部

授業科目名	担当教員名
芸術学概説	神野 真吾
美術の背景	神野 真吾
地域と社会	梅田 克樹
日本の地誌	梅田 克樹
キャリア教育	藤川 大祐・他
公衆衛生学	高橋 浩之
ディベート教育論	藤川 大祐
アートプロジェクトI	神野 真吾
アートプロジェクトII	神野 真吾
地域子育て支援活動実習I	藤川 大祐
地域子育て支援活動実習II	藤川 大祐

理学部

授業科目名	担当教員名
地殻構造学野外実験 I	金川 久一・他
堆積学実験II	伊藤 愼
地形学I	金田 平太郎
地形学II	宮内 崇裕
堆積学実験 I	伊藤 愼

工学部

授業科目名	担当教員名
都市居住計画	森永 良丙
都市開発	村木 美貴
建築計画 I	小林 秀樹
国土・交通計画	丸山 喜久
地域環境計画	梅本 舞子
都市環境共生	瀬瀬 満
環境ビジネス	木村 諭史
都市空間計画	柘植 喜治
建築計画 II	大川 信行
デザイン文化論	植田 憲
デザイン文化計画演習	植田 憲
都市計画	村木 美貴
都市環境プロデュース	柘植 喜治

園芸学部

授業科目名	担当教員名
地域再生計画学	齋藤 雪彦
GIS 利用論	加藤 顕
環境ガバナンス論	秋田 典子
都市計画学	木下 勇
都市緑地学	池邊 このみ
都市緑地計画学	池邊 このみ
緑の環境を育む	緑地環境学科教員
緑地環境学概論	本條 毅
緑地福祉学	岩﨑 寛
公園デザイン学	木下 剛
公園デザイン学	木下 剛

薬学部

授業科目名	担当教員名
薬剤師と地域医療	佐藤 信範・他

看護学部

授業科目名	担当教員名
エンド・オブ・ライフケア看護実践論	石橋 みゆき・他

※受け入れ人数等の履修条件があります。担当教員に相談が必要です。

33 科目 所属学部生限定科目

所属学部の学生のみが履修できる科目

国際教養学部

授業科目名	担当教員名
総合科学コミュニケーション演習	三野 弘文・他
プレゼンテーションメソッド	吉野 文
地域PBL型実習I	谷藤 千香
人文社会科学基礎	泉 利明
生命科学基礎	山口 智志
質的調査法II	福田 友子
量的調査法 II	白川 優治
フィールド・スタディ II	高垣 美智子・他
地域ＰＢＬ型実習 II	鈴木 雅之
都市住環境論	鈴木 雅之
地域環境論	高垣 美智子
環境変動と自然災害	吉田 修二
クールジャパン論	池田 忍・他
日本の食文化	和田 健
ポピュラーカルチャー論	石井 正人
地方創生論	清水 洋行
地方創生マネジメント	鈴木 雅之
現代家族論	米村 千代
千葉学	見城 悌治
経済政策と科学技術	神里 達博
ビッグサイエンス	河合 秀幸
地域医療	山口 智志
健康科学論	小泉 佳右
サイエンスコミュニケーション論	永瀬 彩子
サイエンスカフェ	三野 弘文

法政経学部

授業科目名	担当教員名
ヨーロッパ政治演習I	水島 治郎
ヨーロッパ政治演習II	水島 治郎
ヨーロッパ政治演習III	水島 治郎
ヨーロッパ政治演習IV	水島 治郎

教育学部

授業科目名	担当教員名
ライフコースと生活福祉	久保 桂子
現代社会と家族	久保 桂子

理学部

授業科目名	担当教員名
地質学野外実験 I	伊藤 愼・他
地史古生物学実験 I	亀尾 浩司
地質学野外実験 II	金川 久一・他

工学部

授業科目名	担当教員名
都市環境デザイン	上野 武
都市地域デザイン II	松浦 健治郎
建築の保全と再生	MORRIS MARTIN
都市・建築史	豊川 斎赫
都市・建築史	豊川 斎赫
都市環境デザイン	郭 東潤

医学部

授業科目名	担当教員名
衛生学	諏訪園 靖
公衆衛生学	羽田 明
医療情報経済学	鈴木 隆弘
地域医療実習（公衆衛生学実習）	羽田 明

看護学部

授業科目名	担当教員名
地域看護学概論	宮崎 美砂子・他
精神看護学概論	野﨑 章子・他
訪問看護学概論	諏訪 さゆり・他
地域看護方法	宮崎 美砂子・他
災害と地域看護活動	宮崎 美砂子・他
看護基本技術IV（地区活動）	宮崎 美砂子・他
訪問看護実習	諏訪 さゆり・他
精神・地域看護コア実習	宮崎 美砂子・他
精神・地域看護コア実習	野崎 章子・他
地域看護統合実習	宮崎 美砂子・他
精神看護統合実習	野崎 章子・他
社会資源と看護マネジメント	諏訪 さゆり・他
訪問看護統合実習	諏訪 さゆり・他

園芸学部

授業科目名	担当教員名
インターンシップI	磯田 昭弘・他
インターンシップII	磯田 昭弘・他
インターンシップIII	磯田 昭弘・他
インターンシップIV	磯田 昭弘・他
インターンシップI	天知 誠吾
インターンシップII	天知 誠吾
インターンシップIII	天知 誠吾
インターンシップIV	天知 誠吾
インターンシップI	三島 孔明・他
インターンシップII	三島 孔明・他
インターンシップIII	三島 孔明・他
インターンシップIV	三島 孔明・他
インターンシップI	栗原 伸一
インターンシップII	栗原 伸一
インターンシップIII	栗原 伸一
インターンシップIV	栗原 伸一

敬愛大学指定科目の履修方法

千葉大学は、神田外語大学・敬愛大学・城西国際大学との間で「千葉圏域コンソーシアム」を形成し、単位互換協定書を取り交わしています。各大学の開放科目について、「特別聴講学生」となって単位を修得すれば、普遍教育科目等の単位として認定されます。
コミュニティ再生ケア学では、敬愛大学が開講する科目のうち、指定された科目においてコミュニティ再生ケア学の「履修証明書の取得要件表」に定められた科目区分に属する科目として単位が認められます。
履修希望者は、教務課普遍教育窓口（総合校舎 G1・1 階）にて手続きを行ってください。

出願期間のめやす	前期：前年度の3月頃 後期：8月下旬～9月頃
対象学生	前期：2～4年次学生（受付時1～3年次） 後期：1～3年次学生
授業料	検定料・入学料・授業料は徴収されません。教材などが必要な場合は各自で負担してください。
その他	各科目の詳しい内容は、敬愛大学ホームページよりシラバスを確認してください。

コミュニティ再生ケア学で指定されている敬愛大学開講科目

授業科目	地方創生コース指定
（今年度の指定科目はありません）	

放送大学指定科目の履修方法

千葉大学は、放送大学との間で「千葉大学と放送大学との間における単位互換に関する協定書」を取り交わしています。この協定書及び同協定書の「覚書」に基づき、本学の指定した科目について、放送大学の「特別聴講学生」となって単位を修得すれば、放送大学での成績によって普遍教育科目等として評価されます。放送大学の講義は自宅テレビ、ウェブにて学ぶシステムです。
コミュニティ再生ケア学における放送大学指定科目を履修することによって、「履修証明書の取得要件表」に定められた科目区分に属する科目として単位が認められます。履修希望者は、出願期間内に、教務課普遍教育窓口（総合校舎 G1・1 階）で特別聴講学生出願表を受け取り、必要事項を記入し提出してください。（放送大学学生証用に写真が必要です）
放送大学指定科目の詳しい内容は、教務課普遍教育窓口に確認してください。

履修期間	第1学期（前期）：4月～9月 第2学期（後期）：10月～翌年3月
特別聴講学生の出願についての掲示	第1学期（前期）：前年度の1月頃 第2学期（後期）：当該年度の7月頃
対象学生	第1学期（前期）：2～4年次学生（受付時1～3年次） 第2学期（後期）：1～3年次学生
授業料	11,000円／1科目

コミュニティ再生ケア学で指定されている放送大学開講科目
「地域（再生）に関する多様な分野を学ぶ」の科目数として認定

授業科目	地方創生コース指定
安全・安心と地域マネジメント	○
人口減少社会のライフスタイル	○

Part 4

学び方

時間割

凡例　●地域（再生）の基礎　■地域（再生）に関する多様な分野　▲地域再生に資するスキル　▼PBL・実習

T1

	月	火	水	木	金
2		●地域を共につくる	■アートをつくるI ■環境をデザインする	▲対人コミュニケーション演習	
3	▲理系の作文とプレゼンの学習法 ■カフェをつくるI	■スポーツ・マネージメント	■地域の中のキャンパスづくり ▲芸術学 A	▲文章表現演習 ■地域課題を解決する農業イノベーションの未来	
4	■伝統文化をつくるA ■健康と医療の日本文化	●超高齢社会の地域づくり		●地域の再生	■観るということ ■実務家によるキャリア・デザイン入門 A ■現代医学
5			●共生環境のまちづくり ▲大学生のためのライティング基礎（1）		■グローバル人材育成と留学
集中	■アートをつくるIII（T1〜2） ★カレッジリンク@柏		★地域クリエイティブ実習（T1〜3） ★カレッジリンク@千葉A（T1〜3）		

T2

	月	火	水	木	金
2		●地域を共につくる	■アートをつくるI ■環境をデザインする	▲対人コミュニケーション演習 ●千葉県の産業	
3	▲理系の作文とプレゼンの学習法 ■カフェをつくるI	■スポーツ・マネージメント	▲芸術学 A	▲文章表現演習	
4	■伝統文化をつくるA ■健康と医療の日本文化	●人口減少時代と地域		●地方創生を語る	▲実務家によるキャリア・デザイン入門 ■現代医学 ■観るということ ■地方創生の実務現場 A
5			●共生環境のまちづくり ▲大学生のためのプレゼンテーション基礎（1）		
				★グローバルボランティア事前学習	
集中	■美術館の展示をつくる（T2〜3） ★スポーツによるコミュニティづくり（T2〜4）		■アートをつくるIII（T1〜2） ★カレッジリンク@千葉A（T1〜3）	★地域クリエイティブ実習（T1〜3）	

T3

集中	■美術館の展示をつくる（T2〜3） ★カレッジリンク@千葉A（T1〜3）	★スポーツによるコミュニティづくり（T2〜4） ★地域クリエイティブ実習（T1〜3）	■地方創生の実務実習 ■インクルーシブ・デザイン入門

T4

	月	火	水	木	金
1	■市民社会 - 被災地支援とボランタリズム				
2	▲文献との対話		■観光を考える	■千葉の地域を知る	
3	■カフェをつくるII	■生きるを考える			
4	■伝統文化をつくるB	▲プレゼンテーション演習 ▲思考とコミュニケーションのプラクティス ▲地域ベンチャー起業論	■環境から考える生活と世界	▲地域づくりの道具	■実務家によるキャリア・デザイン入門 B ■非営利市民事業と協働組合
5			▲大学生のためのライティング基礎（2） ■緑と食の環境問題		
集中	★カレッジリンク@千葉 B（T4〜6） ★スポーツによるコミュニティづくり（T2〜4） ■アートをつくるII（T4〜5）		★サテキャンで地域とつながる（T4〜6） ■アーティストと展示をつくる（T4〜5） ■アートをつくるIV（T4〜5）		

T5

	月	火	水	木	金
1	■市民社会 - 被災地支援とボランタリズム				
2			■観光を考える	■千葉の地域を知る	■地域を知り、地域で企画する
3	■カフェをつくるII	■生きるを考える			
4	■伝統文化をつくるB	▲プレゼンテーション演習 ▲思考とコミュニケーションのプラクティス ●地域における起業を語る	■環境から考える生活と世界		■地方創生の実務現場 B ■非営利市民事業と協働組合
5			▲大学生のためのプレゼンテーション基礎（2） ■緑と食の環境問題		
集中	★カレッジリンク@千葉 B（T4〜6） ■アーティストと展示をつくる（T4〜5）		★サテキャンで地域とつながる（T4〜6） ■アートをつくるII（T4〜5）	■アートをつくるIV（T4〜5）	

T6

集中	★カレッジリンク@千葉 B（T4〜6）	★サテキャンで地域とつながる（T4〜6）	■実務家によるキャリア・デザイン演習 B

通期

集中	★地域 NPO 活動体験 ★文化をつくる	★地域志向型インターンシップ ■伝統文化をつくるC	■地方創生の実務演習 ■アートコミュニケーション	★グローバルボランティア（地域） ■ひととみどりをつなぐ

履修モデル

コミュニティ再生ケア学の履修モデルを「バランス型」「理論型」「体験型」、「地域に関する専門科目が少ない学部学科の学生向け」の４つで例示しています。

モデル1 バランスよく学ぶ

地域に関する科目をバランス良く学ぶ履修モデル

推奨モデル

地域と暮らし	地域（再生）の基礎	地域（再生）に関する多様な分野・テーマ	地域（再生）に資するスキル	PBL・実習型	地域（再生）に関する専門科目	合計
1	4	4	4	4	6	23

普遍教育の科目種別は、下記の推奨単位数のようにバランス良く取得してください。

モデル2 幅広く理論的に学ぶ

地域に関する内容をより理論的・体系的に学ぶ履修モデル

ここを多く！

地域と暮らし	地域（再生）の基礎	地域（再生）に関する多様な分野・テーマ	地域（再生）に資するスキル	PBL・実習型	地域（再生）に関する専門科目	合計
1	8	4	2	2	6	23

自分が所属する学部で開講されている地域（再生）に関する専門科目のほかに、他学部で開講されている地域（再生）に関する専門科目も可能であれば、受講してみてください。

モデル3 体験で学ぶ

地域のことを体験的・実践的に学ぶ履修モデル

ここを多く！

地域と暮らし	地域（再生）の基礎	地域（再生）に関する多様な分野・テーマ	地域（再生）に資するスキル	PBL・実習型	地域（再生）に関する専門科目	合計
1	4	4	2	6	6	23

●自分が所属する学部で開講されている地域（再生）に関する専門科目のほかに、他学部で開講されている地域（再生）に関する専門科目も可能であれば、受講してみてください。
●より実践的な学習をしたい場合は、ＰＢＬ・実習型の授業を多く受講してください。

モデル4 他学部の専門科目で学ぶ

地域のことを体験的・実践的に学ぶ履修モデル

他学部履修

地域と暮らし	地域（再生）の基礎	地域（再生）に関する多様な分野・テーマ	地域（再生）に資するスキル	PBL・実習型	地域（再生）に関する専門科目	合計
1	4	4	4	4	6	23

●他学部で開講されている地域（再生）に関する専門科目を受講してください。
●より実践的な学習をしたい場合は、ＰＢＬ・実習型の授業を多く受講してください。

Q&A

Q1 コミュニティ再生ケア学の履修開始方法を教えてください。履修開始には特別な申込みなどが必要ですか？

A コミュニティ再生ケア学の履修証明書を取得するには事前登録が必要となります。詳しくは6ページの「コミュニティ再生ケア学の履修方法」をご覧ください。

Q2 コミュニティ再生ケア学の履修登録は、どの学年からでも可能ですか？

A 可能です。ただ、指定科目により対象年次が決まっているものもありますので、シラバス等で確認してください。なお、大学院生は履修登録の対象としていません。

Q3 現在学部4年生です。1年間でコミュニティ再生ケア学の取得要件を満たすことはできますか？

A ４年生以上は、コミュニティ再生ケア学の履修証明書取得要件のうち種別ごとに最低限必要となる単位数（必修１単位を除く）の23単位を取得していれば可能です。

Q4 学部の卒業要件に入らない単位についても、コミュニティ再生ケア学の単位として認めてくれますか？

A 卒業要件とは別に、コミュニティ再生ケア学の指定科目であれば単位としてカウントします。

Q5 コミュニティ再生ケア学として認定されている科目については、2014年度以前に取得した科目であってもコミュニティ再生ケア学として認められますか？

A 2014年度からの一部の科目（12科目）については単位認定できます（11ページ参照）。しかし、2015年度以降に新たに指定された科目（普遍教育科目、専門教育科目とも）については、たとえ同一科目名のものを2014年度以前に履修したとしても、単位認定はできません。

Q6 コミュニティ再生ケア学の履修証明書はいつ授与されますか？

A 卒業時に授与されます。詳しくは6ページをご覧ください。ただし、3年次修了時までに必要な単位数を取得していれば、取得見込み証明書を発行します。

Q7 指定された期間にコミュニティ再生ケア学の履修証明の取得申請・登録を忘れてしまいました。履修証明書を発行してもらうのは不可能でしょうか？

A 原則として、事前に申請・登録をしていない場合は履修証明書は発行できません。コミュニティ・イノベーションオフィスに問い合わせてください。

Q8 コミュニティ再生ケア学の履修証明書の取得申請・登録をしましたが事情により履修を取り消したいと思っています。その場合はどうすればよいでしょうか？

A 必ずコミュニティ・イノベーションオフィスで履修証明書の取得申請・登録の取り消しの手続きを行ってください。

Q9 単位はいらないので、コミュニティ再生ケア学の指定科目を聴講というかたちで受講できますか？

A それぞれの科目の担当教員に相談してください。

Q10 コミュニティ再生ケア学の履修登録はしていませんが、指定科目を受講できますか？

A もちろん、できます。

Q11 コミュニティ再生ケア学の科目種別ごとの必要単位数を超えて指定科目を受講できますか？

A できます。ただし、科目種別ごとの必要単位数の上限を超えて単位認定はされません。

Q12 地域NPO活動体験／インターンシップへの申込方法を教えてください。

A 募集要項をよく読み、申込に必要な書類等を準備して、締切までに担当教員に提出してください。14ページに履修の流れが記載されているのでご覧ください。4月にガイダンスを開催予定ですのでぜひ参加してください。開催日等については、総合校舎の掲示、ウェブサイト、facebook等で告知します。

もっと知りたい分かりたい人はガイダンスへ!!

「コミュニティ再生ケア学」履修ガイダンス	日時：2017年4月10日（月）・11日（火）・12日（水）・13日（木）・14日（金） いずれも12:10～12:40（ランチ持参可） 場所：総合校舎 G4-54　※４月10日のみイングリッシュ・ハウスにて実施 ※全学共通教育プログラム「地域産業イノベーション学」と合同で実施します。
「コミュニティ再生ケア学」履修相談会	日時：2017年4月10日（月）・11日（火）・12日（水）・13日（木）・14日（金） いずれも13:00～17:00（上記履修ガイダンス時間を除く） 場所：コミュニティ・イノベーションオフィス　（右ページ参照） ※全学共通教育プログラム「地域産業イノベーション学」と合同で実施します。
「地域NPO活動体験／地域志向型インターンシップ」合同履修ガイダンス	日時：2017年4月24日（月）・25日（火）・26日（水） いずれも12:10～12:40（ランチ持参可） 場所：総合校舎 G4-54
「カレッジリンク@柏＋@千葉コースA・B」履修ガイダンス	日時：2017年4月27日（木）・28日（金） いずれも12:10～12:40（ランチ持参可） 場所：総合校舎 G4-54

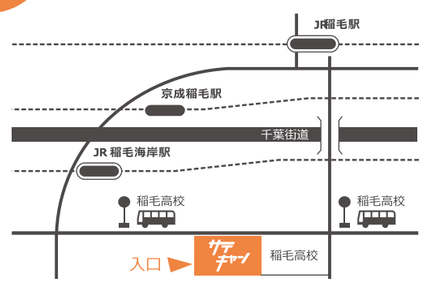
オフィス案内（アクセス）

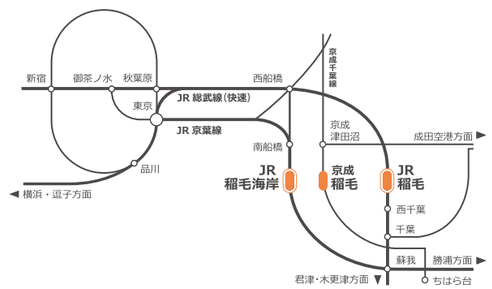
西千葉　千葉大学　コミュニティ・イノベーションオフィス

千葉大学　コミュニティ・イノベーションオフィス
住　所：〒263-8522
千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33　R10学際研究棟1F
電　話：043-251-1111（内線4144）
ＦＡＸ：043-290-2148
メール：coc@chiba-u.jp

コミュニティ・イノベーションオフィス

美浜　千葉大学　サテライトキャンパス美浜





JR稲毛駅／総武線（快速）から▶▶▶　**京成稲毛駅**／京成千葉線から▶▶▶　「高浜車庫」「花の美術館」「海浜プール」行き，バス10分「稲毛高校」下車，徒歩6分
JR稲毛海岸駅／京葉線から▶▶▶　「稲毛駅」行き，バス10分「稲毛高校」下車，徒歩6分　※駐車スペースがないため、公共交通機関をご利用ください．

CHIBA
UNIVERSITY

文部科学省
地(知)の拠点

チーバくん

コミュニティ再生ケア学　手引き　2017

2017 年 3 月 発行　　発行：千葉大学　コミュニティ・イノベーションオフィス

〒 263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33　千葉大学西千葉キャンパス 学際研究棟 1 階　043-251-1111（内線 4144）　E-mail : coc @chiba-u.jp

https://www.coc.chiba-u.jp　https://www.facebook.com/cocchiba/

最新情報はウェブで確認してください